

年間指導計画表(シラバス)

科目名	産業社会と人間 (A パターン)	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自分を正しく理解し、将来の進路設計を立てるために必要な情報を収集・整理することができる。 良好な対人関係の構築に必要な考え方を理解し、適切な態度や接し方などを習得し、活用することができる。 次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校などについての学習を通じて、自分のキャリアデザインを作成することができる。
使用教科書 副教材等	『令和5年度履修ガイド』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	学習内容(ソーシャルスキル、感情の生じ方やそのコントロールの仕方、次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校など)について、正しく理解するとともに、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付けたり、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりすることができる。	学習した内容から、必要な情報を収集し、得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりすることができる。	自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞こうとする。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	レクリエーション SST(1)~(3)(スキル) CD(1)~(3)(自分の強みを知ろう) SST(4)~(6)(認知) CD(4)~(6)(職業理解を深めよう)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点
後期	SST(7)~(9)(怒り) CD(7)~(9)(職業インタビュー) SST(10)~(12)(解決) プレゼンテーションについて学ぼう (1)~(3)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	レクリエーション(1) 生徒理解調査 レクリエーション(2)	4	
	5	ソーシャルスキルトレーニング(1)～(3) スキル①「人との“上手”な付き合い方について考えよう」 スキル②「あたたかい言葉かけをしよう」 スキル③「上手な断り方を身に付けよう」	6	
	6	キャリアデザイン(1)～(3) 自分の強みを知ろう ポートフォリオの作成	6	
	7	ソーシャルスキルトレーニング(4)～(6) 認知①『感情』について知ろう 認知②『感情』を生み出すものについて知ろう 認知③「自分の『感情』と上手に付き合えるようになろう」	6	
	8	キャリアデザイン(4)～(6) 職業理解を深めよう ポートフォリオの作成	6	
	9	履修科目選択に向けて(1) ソーシャルスキルトレーニング(7)～(9) 怒り①『怒り』について知ろう	3 2	
		前期の学習のまとめ	2	
	後期	10	怒り②『怒り』を引き起こす考えをつかもう」 怒り③『怒り』をコントロールしよう」	4
		11	キャリアデザイン(7)～(9) 職業インタビュー ポートフォリオの作成	6
			履修科目選択に向けて(2)	4
12		ソーシャルスキルトレーニング(10)～(12) 解決①『問題場面』を上手に解決しよう」 解決②『問題場面』を上手に解決しよう」 解決③『問題場面』を上手に解決しよう」	6	
1		履修科目選択に向けて(3)	5	
2		プレゼンテーションについて学ぼう(1)～(3) ポートフォリオの作成	8	
3		後期の学習のまとめ	2	

5 その他

ソーシャルスキルトレーニングや進路に関する様々な学習を通して、自分自身についてよりよく理解し、学校で学んでいくべき内容や卒業後の進路についてじっくり考えることを目的としています。
積極的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	産業社会と人間 (B パターン)	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自分を正しく理解し、将来の進路設計を立てるために必要な情報を収集・整理することができる。 良好な対人関係の構築に必要な考え方を理解し、適切な態度や接し方などを習得し、活用することができる。 次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校などについての学習を通じて、自分のキャリアデザインを作成することができる。
使用教科書 副教材等	『令和5年度履修ガイド』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	学習内容(ソーシャルスキル、感情の生じ方やそのコントロールの仕方、次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校など)について、正しく理解するとともに、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付けたり、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりすることができる。	学習した内容から、必要な情報を収集し、得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりすることができる。	自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞こうとする。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	レクリエーション CD(1)~(3)(自分の強みを知ろう) SST(1)~(3)(スキル) CD(4)~(6)(職業理解を深めよう) SST(4)~(6)(認知)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点
後期	CD(7)~(9)(職業インタビュー) SST(7)~(9)(怒り) プレゼンテーションについて学ぼう (1)~(3) SST(10)~(12)(解決)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	レクリエーション(1) 生徒理解調査 レクリエーション(2)	4
	5	キャリアデザイン(1)～(3) 自分の強みを知ろう ポートフォリオの作成	6
	6	ソーシャルスキルトレーニング(1)～(3) スキル①「人との“上手”な付き合い方について考えよう」 スキル②「あたたかい言葉かけをしよう」 スキル③「上手な断り方を身に付けよう」	6
		キャリアデザイン(4)～(6) 職業理解を深めよう	6
		ポートフォリオの作成 ソーシャルスキルトレーニング(4)～(6) 認知①「『感情』について知ろう」	6
	8	認知②「『感情』を生み出すものについて知ろう」 認知③「自分の『感情』と上手に付き合えるようになろう」	6
	9	履修科目選択に向けて(1) キャリアデザイン(7) 職業インタビュー ポートフォリオの作成	3 2
		前期の学習のまとめ	2
	後期	10	キャリアデザイン(8)～(9)
11		ソーシャルスキルトレーニング(7)～(9) 怒り①「『怒り』について知ろう」 怒り②「『怒り』を引き起こす考えをつかもう」 怒り③「『怒り』をコントロールしよう」	6
		履修科目選択に向けて(2)	4
		ソーシャルスキルトレーニング(10)～(12) 解決①「『問題場面』を上手に解決しよう」 解決②「『問題場面』を上手に解決しよう」 解決③「『問題場面』を上手に解決しよう」	6
1		履修科目選択に向けて(3)	5 8
		プレゼンテーションについて学ぼう(1)～(3) ポートフォリオの作成	8 2
3		後期の学習のまとめ	2

5 その他

ソーシャルスキルトレーニングや進路に関する様々な学習を通して、自分自身についてよりよく理解し、学校で学んでいくべき内容や卒業後の進路についてじっくり考えることを目的としています。
積極的に取り組みましょう。